

2022年7月8日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社ニコンで「グリーンローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下「当行」）は、株式会社ニコン（代表取締役社長 兼 社長執行役員 ^{うまたて としかず} 馬立 稔和、以下「同社」）との間で、新本社建設を資金使途とした「グリーンローン」によるシンジケーション方式のタームローン契約（以下「本ローン」）を締結いたしました。尚、本ローンのうち、当行融資分については、「気候変動対応を支援するための資金供給オペレーション（気候変動対応オペ）^[1]」において、当行が気候変動対応に資すると判断する、初の精密機器業界企業への融資案件となります。

同社は、高い技術力をもとにデジタルカメラやFPD（フラットパネルディスプレイ）、半導体露光装置などを製造する精密機器製造企業です。企業理念である、「信頼と創造」を事業活動の中で具現化し、社会の持続可能な発展に貢献していくことを目指しており、2050年度のカーボンニュートラルに向け、2025年度までに事業所からの温室効果ガスを、2013年度比で46.5%削減するという高い目標を掲げるなど、脱炭素化や資源循環の推進、汚染防止や自然環境維持に向けた取り組みを積極的に行っております。

本ローンは、同社が東京都品川区西大井1丁目に建設を予定している新本社建設を資金使途としております。また、新本社はサステナビリティを重視し、地域に根ざした環境配慮型オフィスビルとする計画で、日射遮蔽効果に優れた外装デザインとすることで必要な空調用エネルギーを抑制するとともに、自然光の室内への導入や自然換気を促す機能も有した構造です。さらに、オフィスの稼働状況に応じた可変風量システムの導入などを合わせ、建物全体での大幅な省エネを実現し、「ZEB Ready^[2]」認証と、建築物省エネルギー性能表示制度「BELS^[3]」の最高ランクである5つ星を取得する見込みで、太陽光発電の導入による創エネルギーも行う計画です。

本ローンは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされ、グリーンローン原則が定める資金使途・プロジェクトの評価と選定プロセス・調達資金の管理・レポート発行体の環境活動の第三者評価も取得し、最上位の「Green1 (g1/m1)」の評価を受けています。

<本ローンの概要>

契約締結日	2022年7月7日
アレンジャー/エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
組成金額	100億円
資金使途	グリーン適格物件の建設費用
参加行	株式会社常陽銀行、株式会社百十四銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社りそな銀行、株式会社七十七銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社静岡銀行

<新本社の概要>

施設名称	株式会社ニコン
所在地	東京都品川区西大井 1 丁目 5480-1 他
敷地面積／延床面積	約 18,000 m ² ／約 42,000 m ²
環境認証	ZEB Ready



新本社 完成イメージ

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さま ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 当行は日本銀行における気候変動対応を支援するための資金供給オペレーション（気候変動対応オペ）の対象先に選定されております。詳細については以下のリンクをご参照ください。

https://www.bk.mufg.jp/info/pdf/20211203_kikouhendou_shien.pdf

[2] Net Zero Energy Building Ready の略。快適な室内環境を実現しながら、従来の建物で必要なエネルギーと比較し、省エネによって 50%以上のエネルギー消費量の削減を実現している建物。

[3] Building-Housing Energy-efficiency Labeling System の略。建築物の省エネルギー性能を第三者機関が評価、認定する制度で、星の数で 5 段階評価が行われる。

以 上